

ぶつこうえんみょうぜんじ け さ およびねんじゆ
「佛光円明禅師（節香徳忠）袈裟及び念珠」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（歴史資料） 昭和 57 年 3 月 10 日
- 所 在 地 千曲市大字森 1564 番地 禅透院
- 所 有 者 禅透院
- 概 要 イ. 袈裟
九条の袈裟で、長さ 328 cm、幅 128 cm、小絹布を割截綴合せた通常の袈裟の形式。四方の額縁布の幅 3 cm、唐草に鳳凰文を配し、地は紗綾文とし補綴した所が多く、裏地絹布。
袈裟輪は象牙を用い、外径 10.3 cm、内径 6.2 cm、厚み 0.25 cm。
ロ. 念珠
材質は水晶で、その数 108 顆。大玉は径 2.5 cm、中玉 1.8 cm、小玉 1.0 cm前後。
- 銘 文 等 袈裟に「前摠持
當院開山節香徳忠和尚法衣
同念珠
三代徳應誌之」と四行に墨書。
- 時 代 室町時代
- 公 開 寺室のため非公開

袈裟及び念珠は、銘文によって禅透院開山である勅特賜佛光円明禅師節香徳忠の袈裟及び念珠であることが明らかになっています。

節香徳忠は佐久郡前山城主伴野佐渡守光利の子で、文明 6 年（1474）生まれ。大永元年（1521）佐久郡前山貞祥寺開山となり、その後、天文 11 年（1542）に禅透院を開きました。また武蔵国慶徳寺に千人法幢を行うなど、禅宗の興隆に力を注ぎ、永禄元年（1558）正親町天皇は師の徳に感じ宮中に招いて法を聴き法衣を授け、この時、「佛光円明禅寺」の号を賜わったとされます。元亀元年（1570）96 才で没し、貞祥寺・禅透院に分骨し立塔されました。

